

7月27日(火)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ

日刊サマーミュージック



Hobo Nikkan Summer Muza

精妙な指揮、 圧巻の「新世界」

7月26日 東京都交響楽団



©青柳聡

シンガポール出身の指揮者カーチュン・ウォンのプレトークは、英語で話していたのが突然流暢な日本語に切り替わったり、その逆になったり、といった具合で、実に面白い。日本に愛妻と愛猫がいるので云々という寛いだ話をも披露したウォンだったが、その彼が東京都響を指揮した演奏は、まさに濃密で、凄まじい緊張感にあふれたものであった。

リストの交響詩「前奏曲」では、テンポを遅めに設定し、巨大な起伏感を導入する。チャイコフスキーの「ロココ風の主題による変奏曲」では、ソリストの岡本侑也の瑞々しい感性と美しい音色を充分に生かす。

だが圧巻だったのは、やはりドヴォルザークの「新世界交響曲」であろう。細部に至るまで神経を行き届かせ、音楽のフレーズや挿入句を大きくふくらませたり、テンポを微細に調整したりと、息もつかせぬほどの劇的効果を施す指揮なのだが、それらが音楽全体のうねりと完璧に合致している

カーチュン・ウォン(指揮) 岡本侑也(チェロ)



ので、否応なしに納得させられてしまうのである。

この精妙な指揮に応えた東京都響も見事だった。両端楽章での、弦楽器のトレモロの上に宏大な空間を創るホルン。大草原に流れゆく望郷の歌といった趣の第2楽章――。

これほど情感の豊かな、濃い「新世界」は聴いたことがなかった。今回が初顔合わせというオケをこれほど見事に制御するとは、やはりこの指揮者、ただものではない。

(東条碩夫 音楽評論)



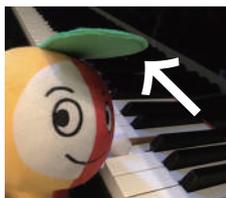
開演前のプレトークにて
国塩哲紀(都響芸術主幹) カーチュン・ウォン(指揮)
(通訳：久野理恵子)

お客様から

マエストロのカーチュン・ウォンのタクトさばきが見事でした。都響と初めての共演とは思えない息の合った演奏でした。プレトークでマエストロが述べられていたコロナ禍での演奏の苦労話は大変共感いたしました。(50代・会社員・にいさん) / ライブもアーカイブも良いけど会場での迫力ある響きは最高!(70代・主婦・多幸ちゃん) / 新世界の3楽章、4楽章がとても良かったです。気付いたらテンポが変わっており疾走感や踊り出したくなる感じなど場面によって色彩豊かな演奏でした。とても楽しかったです。(20代・学生・せさみ) / 大好きな「新世界」があるので来ました。チェロのソロは初めて聴きましたが、とてもよかったです。指揮者のウォンさんのお人柄がよく出たコンサートでした。すばらしかったです(70代・なし・匿名希望) / マエストロとオーケストラの初顔合わせに相応しいバラエティに富んだ選曲で楽しく拝聴しました。2曲目、ロココでは岡本さんが涼しげなお顔でものすごいパッセージをさらりと演奏される様子に、こちらはアツくなりました。Bravo!!(会社員・ぜぶら)

? 夏音 クイズ vol.6

【質問】音楽のまち・かわさきのマスコット「かわさきミュートン」から問題です。かわさきミュートンの頭についている緑色のアレは、いったい何でしょうか?



- ①葉っぱ。実はニュートンさんが拾ったリンゴなんだ!
- ②うちわ。パタパタ扇いでみんなを涼しくするよ!
- ③八分音符の旗♪ 音符から生まれたんだ!
- ④つばさ。くるくる回って飛べるよ!

答えは次号! お楽しみに♪

前回のクイズの 正解発表

7/26読売日本交響楽団のクイズ
答えは、
①の「オレンジジュース」でした!



リハーサルの合間には、必ずオレンジジュースをゴクゴク飲まれるとのこと。汗をかくので、水分と糖質が取れ、酸味がちょうど良いとのこと。他のジュースではダメなようです。でも、普段、家では飲まないとのこと。"勝負ドリンク"って感じですね!

聴きなじみのするメロディと古典的でシンプルな構造。洗練された天才モーツァルトの作品は、どれも奏者の力量をはっきりと映し出す鏡のような存在です。

休日の午前11時から、モーツァルト、もしくはモーツァルトの人生や作品に関連した作品を浴びられるとあって、毎回ご好評いただいているこのシリーズ。そもそもは、長年東京交響楽団の音楽監督をつとめた(現在は桂冠指揮者)ユベール・スダーンがモーツァルトを得意としていたことに端を発した企画でした。

次回8月22日の公演では、鈴木優人がシリーズ初登場します。指揮者として、オルガニストとして、またそのほかにも縦横無尽に活躍する彼ならではの演奏が繰り広げられるのがいまから待ち

遠くてもなりません。また、NHK交響楽団首席奏者として活躍し、ソリストとしても人々を魅了し続ける福川伸陽を迎え、ホルン協奏曲(第1番、第3番)にて登場していただきます。「モーツァルト・マチネ」スタート以来、定期的にモーツァルトに取り組んできた東京交響楽団だからこそできる、本格的なプログラムをお楽しみください。



福川伸陽



鈴木優人

©Marco Borggreve

モーツァルト・マチネ 8月22日(日)

朝のすがすがしい空気の中 モーツァルトにひたる1時間

<オール・モーツァルト・プログラム>

歌劇『フィガロの結婚』序曲 K.492

ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K.447

ホルン協奏曲 第1番 二長調 K.412

交響曲 第35番 二長調 K.385「ハフナー」

～鈴木優人からのメッセージ～

東京交響楽団の皆様とモーツァルト・マチネをご一緒できることをとても嬉しく思います。

モーツァルトと言うと、ホテルや喫茶店のBGMにぴったり、なんて思ってたらしる方もいるかもしれませんが、実はモーツァルトは革命家であり、ロックスターでした。

ハフナー交響曲は当時の交響曲史上最も目立つ音型で始まり、ジェットコースター並みのスリルで終わる強烈な作品。是非お聴き逃し無く！

全20公演を映像配信！8月末まで見放題♪



- 臨場感あふれるカメラアングル
- こだわりの音質
- 配信オリジナルのコーナー

オンライン視聴券

全20公演セット券 13,000円
1回券 500円～1,500円

購入・視聴はミュージア Web チケットで！



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki

川崎市民食堂魚金・西

カワサキデルタ 2F

パートナーショップ特典

アジフライ御膳定食 200円引き

※平日は終日。土・日・祝日は11:00～15:00

優待券を
ご提示下さい

本日のお土産に新鮮なお刺身はいかが？

今年五月にグランドオープンした川崎デルタ内にある「川崎市民食堂魚金・西」。

オープン初日から行列ができるほどの盛況でした。優待券をご利用いただける大人気のアジフライ定食ももちろんおすすめですが、実はお土産コーナーも充実しているんです！

毎朝、旬のお魚を豊洲から仕

入れ、お店で捌いて出しているから新鮮そのもの。今回は“お刺身6種盛り合わせ”を、魚好きな家族のために購入。保冷剤をしつかり入れていただき、大切に持ち帰って自宅でいただきました。お店で切りたてのお刺身を自宅でゆっくり味わえる幸せ！冷えた日本酒とともに味わうお刺身に、身も心も癒されるひと時でした～。(高)



～お持ち帰り
コーナー
大変充実して
いました！



↑お刺身6種盛り合わせ 1500円

サマーミュージア公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>



#サマーミュージアで投稿してください！



Twitter: @summer_muza



Facebook: @kawasaki.sym.hall



Instagram: @muzakawasaki

明日以降のサマーミュージアもどうぞお楽しみに！
(事業企画課の巨人)

本日は、ボロディン、ラフマニノフという近代作品を、バッハの第一人者である鈴木雅明マエストロのタクトでお楽しみいただけます。パロックのスペシャリストが近代の音楽を紡ぎ、現代の私たちが聴く。今年のミュージアで一番の時間旅行かもしれません。

この前見たのは、人の夢の中に潜入する映画でした。ある秘密を探るために夢の深層へどんどん潜っていきます。潜るにつれて時間の感覚がどんどん、どんどん…?

時間といえば、クラシックの多くが昔々に書かれた作品。書かれた当時とは、生活も流行も異なる時代に生きている私たちが、なぜこんなにも魅了されるのでしょうか。時代は変われども名曲は色あせず、音楽から影響を受ける私たちの感覚は、今も昔もあまり変わらないのかもしれません。

ほほ
日刊サマーミュージア
Hobo Nikkan Summer Muza

スタッフ日誌

今年の夏もやはり暑い！
で来場いただきありがとうございます！
でございます。
仕事終わりの映画、片手にビール。最近ハマっております。